


政策1 環境保全型社会の形成

施策1 地球環境の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
環境基本計画推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境政策監
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	178,820	
一般	4	1	8		
目的					
環境保全の取組みを進め、市民の環境保全に対する関心を高めます。					
内容					
現行の長岡京市環境基本計画を見直し、つむぎ織りなす“環境の都”長岡京の実現を目指して市民や団体、企業などと協働して推進します。					
<div style="text-align: center;">省エネナビモニター意見交換会</div> 					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
自然と共生する持続可能な社会の構築を目指し、市民や企業、諸団体などと協働して、長岡京市環境基本計画を推進します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
策定から10年 が経過し、現 在の環境との かい離がある (平成23年度 に10年を経 過)	目標	環境基本計画骨子の作成	長岡京市環境基本計画改定 長岡京市環境基本計画実施計画改定	長岡京市環境基本計画実施計画の改定、実施計画の進捗報告・施策の見直し ※25年度からの目標値	長岡京市環境基本計画実施計画の進捗報告・施策の見直し	長岡京市環境基本計画中間年の見直し
	実績	新環境基本計画の改定作業 環境基本計画実施計画の改定	長岡京市第二期環境基本計画の策定 長岡京市環境基本計画実施計画の進捗確認	長岡京市環境基本計画実施計画の進捗報告 長岡京市第二期環境基本計画実施計画の策定	長岡京市第二期環境基本計画実施計画の進捗確認	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 生活環境審議会を2回開催し、長岡京市第二期環境基本計画実施計画の進捗確認と評価を行いました。 第二期環境基本計画の推進組織であるステップアップ・チャレンジ会議を運営し、「長岡京環境検定」と「省エネナビモニター事業」を実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 生活環境審議会での審議を踏まえ、市民にも分かりやすい報告書として「長岡京市第二期環境基本計画実施計画進捗報告書」を策定しました。 第二期環境基本計画の推進組織であるステップアップ・チャレンジ会議を運営し、市民と協働で「長岡京環境検定」や「省エネナビモニター事業」を初めて実施しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 「長岡京市第二期環境基本計画」における行政施策の着実な推進が必要です。庁内連携を取りながら、行政施策の推進を図ります。 ステップアップ・チャレンジの取組みを、より多くの市民参加のもとに実施することが必要です。ステップアップ・チャレンジ会議において市民の方々とともに環境基本計画に沿った事業を推進します。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策1 地球環境の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
環境都市宣言啓発推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境政策監
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	592,982	
一般	4	1	8		
目的					
市民・企業・諸団体と行政が“環境の都”長岡京の実現に向けて、環境の取組みを進めます。					
内容					
環境フェアの実施など環境活動への参加を促進する事業を実施します。					
環境フェア(子ども環境フェスティバルの様子)					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
「環境都市宣言」の周知及び市民の環境活動への参加促進を図るとともに、環境フェアの実施など環境活動への参加を促進する市の事業及び市が関連する事業を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
1事業 (平成23年度)	目標	1事業	1事業	1事業 ※25年度からの目標値	1事業	2事業
	実績	1事業	2事業	2事業	2事業	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市“環境の都”賞に2団体を選び、表彰を行いました。 ・長岡京竹あそびを共催し、市民活動団体と協働でイベントに取り組みました。 ・第6回目となる環境フェアでは、企業や環境活動団体からの出展や小学生による研究発表を行い、展示や実演を通して意識啓発を図りました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から放置竹林の問題を啓発するため、市民主導で始められた「長岡京竹あそび」に市として平成24年度から共催しています。 ・環境フェアでは環境活動団体や企業の展示や体験コーナーが充実しています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより多くの企業・団体との連携を深め、来場者の意識啓発と楽しさにつながるようなイベントづくり、来場者数の増加が課題です。 ・環境活動団体や企業とともにテーマや目的を共有し、面白味のある取組みと主体的な参加を促進します。 						

政策1 環境保全型社会の形成


施策1 地球環境の保全

事務事業の概要						
事務事業名称				重点テーマ		
環境監視事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり		
予算科目				決算額(円)		担当課
会計	款	項	目	3,600,256		環境政策監
一般	4	1	7			
目的						
公害や環境汚染のない良好な生活環境を保持します。						
内容						
大気や水質、騒音、振動などの環境調査を行い地域の環境状況を把握し、問題発生時の迅速な解決にあたります。						

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
地域の環境状況を正確・迅速に把握します。また、問題発生時には迅速に対応します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
205項目 環境基準超過 数8件 超過率3.9% (平成21年度)	目標	環境基準超過数の減少	環境基準超過数の減少	環境基準超過数の減少	環境基準超過数の減少	環境基準超過数の減少
	実績	調査数142項目 基準超過数17件 超過率12.0%	調査数206項目 基準超過数13件 超過率6.3%	調査数211項目 基準超過数12件 超過率5.7%	調査数212項目 基準超過数10件 超過率4.7%	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音、振動等を委託及び自主検査により実施しました。 ・大気調査は67か所で調査を実施し、環境基準の超過はありませんでした。 ・水質調査では、地下水及び河川の15か所で調査を実施し、7か所の一部測定項目で基準を超過していました。 ・騒音調査では、環境騒音及び自動車騒音で31か所の調査を実施し、3か所の一部時間帯で基準を超過していました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の項目や時間帯によって基準を超過していますが、環境基準の超過数、超過率とも減少傾向にあります。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全意識の高揚に努めるとともに、市民、事業者、諸団体の理解と協力が不可欠であり、調査で得られた結果を広く情報公開し、市民、諸団体へ環境保全意識の啓発に努めます。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策1 地球環境の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
低公害車導入事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境業務課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	13,285,387	
一般	4	2	2		
低公害車(ごみ収集車)					
					
目的					
環境負荷の大きい清掃車両を環境負荷の少ないものに更新します。					
内容					
更新計画に基づき、ディーゼルエンジンの清掃車両について、耐用年数を勘案しながら、環境負荷の少ない低公害車に切り替えていきます。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
清掃車両の更新にあたり、環境負荷の少ない低公害車を、更新計画に基づき導入します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
低公害車6台 を維持 (平成22年度)	目標	低公害車 7台	低公害車 7台	低公害車 8台	低公害車 9台	低公害車 11台
	実績	低公害車 7台	低公害車 7台	低公害車 8台	低公害車 9台	
平成26年度の事業内容						
・耐用年数を超えた清掃車両(天然ガス車)をハイブリット車に更新しました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
・行政も低公害車の普及に積極的に取り組む必要があるため、耐用年数が過ぎた清掃車両(天然ガス車と軽油車)2台を廃車し、更新計画に基づきハイブリット車を2台導入しました。						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・近年地球温暖化が進み、環境問題に対する市民の意識は高くなっています。 ・導入費用は割高でコスト面の問題はありますが、地球環境に配慮した車両導入に今後も努めます。 						

政策1 環境保全型社会の形成


施策2 循環型社会づくりの推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
分別によるリサイクル推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境業務課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	11,832,872	
一般	4	1	8		
目的					
廃棄物の適正処理とリサイクルを進め、埋立地の延命化につなげます。					
内容					
エコタウン推進事業や資源ごみ集団回収助成事業などを通じ、資源ごみの適正排出と再資源化の向上を目指します。					
エコタウンの分別収集					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
11種類の資源ごみの分別収集及び古紙などの集団回収の推進により、資源化量の増加を目指します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
3,800t (平成23年度)	目標	3,900t	3,980t	3,932t ※25年度からの目標値	3,993t	4,071t
	実績	3,800t	3,700t	3,648t	3,568t	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン推進事業や資源ごみ集団回収助成事業などを通じ、86団体が年間2,282 tの古紙等を回収し再資源化を図りましたが、前年度と比べ新聞・雑誌・古繊維の回収量を含め約80 t減少しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン実施団体は、22団体が分別指導を実施しています。 ・また、資源ごみ集団回収の活動団体に大きな変化はありませんが、デジタル化の普及に伴い、古紙等の回収量が減少しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの増減は経済状況に左右されるところがあり、施策を遂行していく上で経済的なインセンティブが必要となってきます。 ・再資源化を推進していくには、資源回収の補助対象品目の拡大及び啓発活動を検討していく必要があります。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策3 廃棄物の適正管理・処理

事務事業の概要									
事務事業名称				重点テーマ	担当課				
一般廃棄物等の適正処理事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境業務課				
予算科目			決算額(円)						
会計	款	項	目	746,727,779					
一般	4	2	1						
ゴミピット(乙訓環境衛生組合)									
									
					目的				
					廃棄物を適正に処理し、ごみの減量化を進めることで、ごみ埋立地の延命化を図ります。また、ごみ処理の広域化を進め、処理の効率性を進めます。				
内容									
市が収集した一般廃棄物を乙訓環境衛生組合で適正に処理するとともに、廃棄物減量等推進審議会で、今後の廃棄物行政について協議していきます。									

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
再資源化などにより、一般廃棄物の排出量の減少を維持します。 (乙訓環境衛生組合に搬入されるごみの総量)						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
22,473t (平成23年度 実績)	目標	22,044t	21,991t	21,797t	21,648t	21,502t ※27年度からの目標値
	実績	22,473t	22,114t	22,077t	21,782t	
平成26年度の事業内容						
・乙訓環境衛生組合で一般廃棄物の適正な処理に努めました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
・家庭系一般廃棄物は近年減少傾向にあります。						
課題と今後の対応						
・今後の一般廃棄物の状況は、経済の動向等によって増減することが考えられ、経済状況に左右されない廃棄物減量施策を推進していく必要があります。 ・今後も一般廃棄物処理基本計画【改訂版】に示す重点事項や課題を中心に、ごみ減量に向けた施策を展開します。						

政策1 環境保全型社会の形成


施策3 廃棄物の適正管理・処理

事務事業の概要				
事務事業名称				重点テーマ
粗大ごみ収集運搬事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり
予算科目			決算額(円)	担当課
会計	款	項	目	環境業務課
一般	4	2	2	
7,795,748				
目的				
粗大ごみの不法投棄をなくし、収集した粗大ごみを適正に処理することで地域環境の保全を行います。				
内容				
市民が排出する粗大ごみを収集運搬し処理します。処理にあたっては排出する市民から手数料を徴収しています。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
受益者負担の原則に基づき、粗大ごみを排出する市民の負担のもと、適正に粗大ごみが処理される状態を維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
手数料 6,859,050円 処理件数 2,905件 処理量 173t (平成21年 度)	目標	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします
	実績	手数料 6,632,500円 処理件数3,016件 処理量156t	手数料 5,719,300円 処理件数3,118件 処理量144t	手数料 6,860,150円 処理件数3,513件 処理量163t	手数料 5,534,400円 処理件数3,011件 処理量141t	
平成26年度の事業内容						
・市民が排出する粗大ごみを個別収集方式(予約制)で収集運搬を行いました。処理にあたっては手数料を徴収しました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
・粗大ごみの収集運搬・処理を有料化することで、平成19年3月策定の長岡京市一般廃棄物処理基本計画(平成24年度3月改定)に定める目標値(262t)よりも下回り、市民の「物を大切にする生活意識」の向上につながりました。						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 「その他不燃物」の分別収集日には、不適切に排出されるごみが多くみられるため、市民に対して広報紙・啓発看板・ホームページ等で適正排出指導等に努めていますが、より効果的な啓発手法の検討が必要です。 近隣市町の現状なども把握しながら、手法についての検討を行います。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策3 廃棄物の適正管理・処理

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
容器包装対象物収集運搬事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境業務課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	72,505,273	
一般	4	2	2		
資源ごみ分別ステーション					
					
目的					
最終処分地の延命及び容器包装リサイクル法による分別収集を推進することにより、循環型社会の構築を図ります。					
内容					
市民にごみを11種類に分別排出するよう依頼し、市は分別されたごみを収集し、処理施設に搬入しています。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
容器包装リサイクル法に基づき、市民が適正排出を実践し、廃棄物から分別されることにより資源となる廃棄物が増えています。この状況を引き続き維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
2,020t (平成21年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	2,146t	2,054t	2,092t	2,072t	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 市民にごみを11種類に分別排出するよう依頼し、市は分別されたごみを収集し、処理施設に搬入しています。 業務の一部を民間業者に委託しています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<ul style="list-style-type: none"> 容器包装リサイクル法に基づき、ごみの分別が徹底されました。 資源回収される廃棄物はわずかに減少しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 最終処分地の延命化が必要であり、そのためには市民の環境等に対する意識を高め資源の有効利用を図り、ごみの減量化が求められています。 資源物(分別)収集は、容器包装リサイクル法の見直しの影響を受けることが大きいことから、国の動向を見定め、今後も引き続き市民に対して排出抑制のための情報を提供していくことが必要になります。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策3 廃棄物の適正管理・処理

事務事業の概要				
事務事業名称				重点テーマ
一般家庭用可燃ごみ収集運搬事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり
予算科目			決算額(円)	担当課
会計	款	項	目	
一般	4	2	2	309,643,322
環境業務課				
目的				
ごみを適切に収集運搬することにより、快適で良好な生活環境を維持します。				
内容				
週2回、市民が可燃ごみステーションに排出する一般家庭用可燃ごみを収集し、乙訓環境衛生組合に搬入して適正に焼却処分します。また、業務を効率化するため、収集運搬を業者に委託しています。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
可燃ごみの排出抑制や分別収集の実施により、一般家庭用可燃ごみの排出量は数年横ばい傾向が保たれています。このような状況を引き続き維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
14,218t (平成21年度)	目標	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします	上記内容为目标とします
	実績	14,203t	14,047t	13,962t	13,803t	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 週2回、市民が可燃ごみステーションに排出する一般家庭ごみを収集し、乙訓環境衛生組合に搬入して適正に焼却処分しました。 業務を効率化するため、収集運搬を業者に委託しています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ排出量は減少傾向が続いています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの排出抑制と最終処分地である勝竜寺埋立地の延命化を図るためにも、可燃ごみの減量化は喫緊の課題です。 「ごみ減量のしおり」の全戸配布、市のホームページ及び広報紙の活用、出前講座等の積極的な開催により市民にごみ減量の必要性を啓発していきます。 						

政策1 環境保全型社会の形成

施策4 快適な生活環境の実現

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
環境美化推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	環境政策監
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	1,787,336	
一般	4	1	6		
目的					
不法なごみの排出がされにくい環境づくりを目指します。					
内容					
不法投棄などの防止のための環境パトロール及び「長岡京市まちをきれいにする条例」の啓発活動を実施します。					
職員によるまち美化清掃					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
不法投棄などを防止することで投棄物の減少を図ります。（指標は2t車×運搬回数で積算）						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
14t (21年度)	目標	14t	12t	12t	10t	10t
	実績	14t	8t	10t	10t	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市不法投棄等対策本部のメンバーによる市内一円の不法投棄パトロールを実施し、対策本部で対策を協議、問題点を検討しました。 ・日常的には、環境監視員が毎日午前と午後には不法投棄パトロールや必要に応じて随時夜間パトロールを実施しました。 ・環境美化推進員（シルバー委託）による長岡天神駅周辺の美化活動を実施の他、平成26年度から犬糞害防止のため「ワンワンパトロール」を新たに開始しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> ・問題発生に対する早期対応により、ほぼ平穩に保たれています。 ・「ワンワンパトロール」については、市民等からも犬糞害問題の解決に一定の効果があると評価する意見があり、継続的に実施する予定です。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の防止の啓発と常時監視体制の維持及び継続が必要です。常時監視体制は、啓発だけではなく、不法投棄に対する抑止力となることから今後も現在の取組みを継続していく必要があります。 ・市広報紙やホームページ等による不法投棄防止啓発を継続するとともに、常時監視として日常の監視パトロールを継続実施していきます。 						